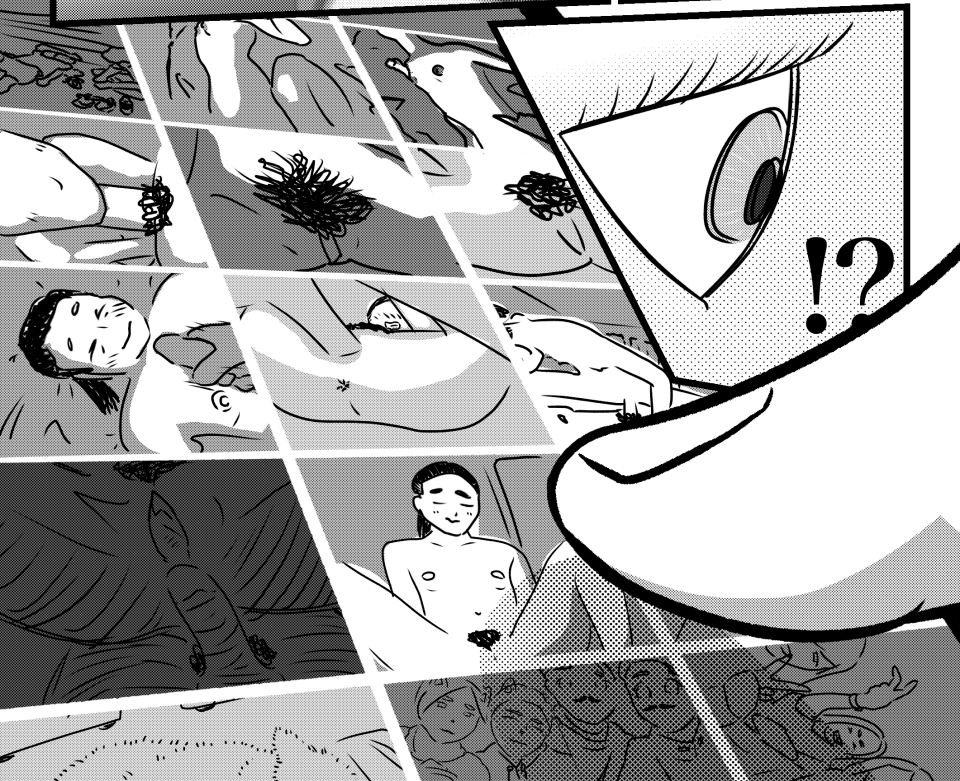
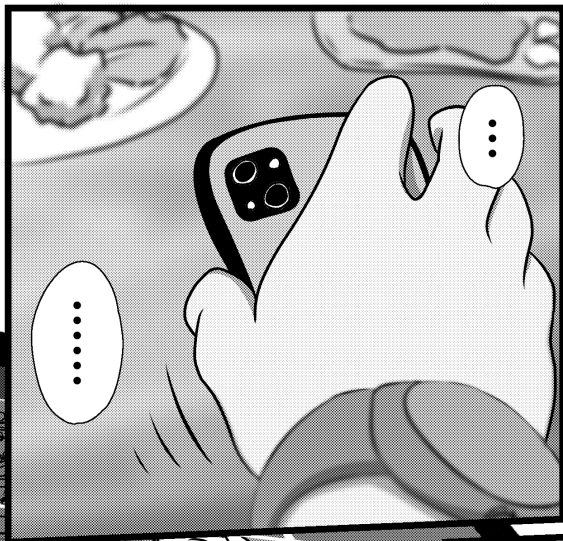


ただから、
瞬間見えた
画面には

あんな姿が
映ってた気がして。





いまだ
いまだ!!

「出会い系で作った彼氏が
めっちゃや優男なの」
その話しを聞く頃には、



もう、
相当さめていた



性格も

部活も



俺らは同じ高校だった
だから、知っている。



なのに

それなのに

俺の方が知ってる



人間関係も

別に、付き合いたかったわけじゃない。



けど、知らないところで、体を重ねてたことが、気にいらなくて、



憂さ晴らしをまひろの体でした。